



月の園だより



令和7年6月2日



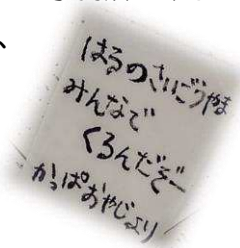
目黒区立菅刈保育園園長

緑の木々や陽ざしのまぶしさが初夏を思わせる季節になり、戸外活動にはとても良い気候です。子どもたちは園庭や散歩先でたくさん体を動かして遊んでいます。すでに夏日になる程の気温となり、例年よりも早く日よけネットをつけて熱中症予防に努めています。

先月27日に「春の西郷山」のイベントを行いました。4.5歳児クラス7名ずつのチームで、西郷山公園にある草花を探しながら歩くオリエンテーリングです。前日の夕方、5歳児の子どもたちが慌てた様子で事務所に来ました。「大変だよ。かっぱおやじが来たんだよ。きりん組の部屋の天井に手紙が貼ってあるよ」と、みんなが口々に言うので「落ち着いて。ゆっくり教えて」と、慌てっぷりに思わず笑いそうになるのを必死にこらえました。うさぎ組の子どもたちも部屋にある“かっぱおやじ”の本を持ってきて「これだよ。出たんだよ」と教えてくれました。「でもさ、私は見てないよ。なんできりん組の部屋にだけ手紙があるんだろう。そういえばきりん組だけ誰もいない時間があつたから、きっとその時にそっと貼ったんだね」と言うと、みんな納得の表情でした。「明日、西郷山にかっぱおやじがいたら怖いよね」「それにしても、どうやって天井の高いところに貼ったんだろう」などなど話は尽きません。それほど子どもたちが楽しみにしているイベントということが伝わってきました。当日は、各チームのリーダーさんが人数を確認しながら園内を移動するのですが、あっちへこっちへ行きたい方に歩く子どもたちなので人数確認も一苦労のようです。6種類の草花を見つけられたら園に戻り、最終的に園長の私からのクイズが待っています。今回のお題は「お庭にある“ヘクソカズラ”の花と実の色をあててね」と2者択一問題でした。5チームとも大正解で「やった～」と大喜びでした。答えはぜひ子どもたちから聞いてみてください。覚えているかな。

※ヘクソカズラは園庭のピオトープ横のフェンスに蔓が絡まっている雑草です※

【答え 中心部が赤の白い花 実はおレンジ】



Welcome

今月は両面で菅刈保育園の園庭を紹介します。
全クラスが出て遊べるくらいのお庭です。
各クラスの夢中になっていることや、
活動の様子をお伝えします。

きりん組
(5歳児クラス)

今年米作りに挑戦します。わくわくした表情で田植えを始めた子どもたちでしたが、いざやってみると「どうやればいいのか、わかんない」という声がたくさんあがり、保育士が一人ひとりやり方を伝えていきました。そして、自分で稲がピンと立つ様に植えられると「やった。できた」と喜んで、残りの稲も自信をもって植えていました。今は小さな稲が、秋の収穫までどの様に育っていくのかを楽しんでいきたいと思っています。



6月の予定

- ・つぼみ組懇談会
- ・すみれ組懇談会
- ・みんなで遊ぼう会（幼児クラス）
- ・眼科検診（全クラス）
- ・耳鼻科検診（幼児クラス）
- ・歯科検診（全クラス）
- ・上旬 身体計測
- ・中旬 避難訓練

水道の片隅では
(事務所's eye)

水が恋しくなる暑い日。園庭に出るとこんなに
かわいい後ろ姿に遭遇しました。
夢中になっている後ろ
姿からは「なにしてる
の？わたしもできるか
な」などの声が聞こえ
てきそうです。





すみれ組
(1歳児クラス)

保育士が団子を作ると、子どもたちが興味津々で近くに寄ってきます。団子を作って皿に乗せると、そっと手を近づけて触っています。「もっと、触ってもいいよ」と声を掛けると微笑みながら、そおっと触っていました。団子が少し崩れてくると、それが楽しいようで今度は何回も崩すこと楽しんでいます。

つぼみ組
(0歳児クラス)

つぼみ組が園庭に出ると「赤ちゃんが来たよ。可愛い」と幼児クラスの子どもたちが集まって来ます。一人の子が「この子の名前は」とつぼみ組の子の顔を覗き込みながら聞くので「〇〇ちゃんだよ」と応えると「〇〇ちゃん」と笑顔で呼びかけています。呼ばれた子はジーンと顔を見てから手をばたつかせて全身で嬉しさを表現して、笑顔で応えていました。



ひまわり組
(2歳児クラス)

自分でゾウのじょうろに水を汲んでは何度もこぼすことを繰り返していると、水たまりができてきました。保育士が手で混ぜると、それぞれシャベルや鍋を持ってきて混ぜ始めます。すると、皿に盛りつけて「カレーなの」と嬉しそうに教えてくれました。近くにタライを用意すると、今度は汽車を持ってきて洗い始めます。「洗車みたいだね」と言うと「ごしごし」と言いながら洗い始めました。それぞれのイメージを持った遊びを楽しんでいます。



菅刈の園庭をのぞいてみよう



りす組
(3歳児クラス)

園庭の中でもビオトープの周りでは様々な動植物を見つけることができます。「メダカ泳いでる」「こっちにはエビがいた」と池をよく覗き込んでいます。みんなのお気に入りの木の実や花を取っては形や色、大きさなどを比べ合い、見つけた喜びを共有していました。虫に触るのが苦手だった子も友達が触れている姿を見ているうちにいつの間にか触れるようになるなど、友達の影響も受けながら動植物との触れ合いを楽しみ、興味が深まってきています。



うさぎ組
(4歳児クラス)

バスマット、ボトルケース、ベンチ、タイヤ等、園庭にある道具は子どもたちの手にかかるるとどんなものにも変身します。ボトルケースとベンチの上にバスマットを並べ、おうちごっこが始まりました。ベンチの下は秘密基地のようです。「子どもしか入れないの」と自分たちだけの特別な空間を楽しんでいます。友達と一緒にだと様々なアイデアが集まり、作りたいイメージもやってみたい気持ちも、どんどん膨らんでいきます。

